

Windows認証クイックガイド

Windows認証の設定

- 中央のネットワークサーバーにOpenLM Serverがインストールされていることを確認してください。
- OpenLMがIIS環境で構成されていることを確認します。
- ディレクトリ同期拡張機能をアクティブにします。
- ロールと権限の拡張機能をアクティブにします。
- Windowsコントロールパネル→プログラムと機能→Windowsの役割のオンオフ→ロール→Webサーバー(IIS)→役割サービスの追加→Windows認証→インストール済みマークします。
- IISマネージャーで、EasyAdminを選択→認証アイコンをクリックします。
 - Windows認証を有効にします。
 - ASP.Net偽装を有効にします。
 - 匿名認証を無効にします。
- IISマネージャーで EasyAdminを選択→構成エディターアイコン→system.webserver/validationセクション→validateIntegratedModeConfigurationの値を 'False' に設定します。

ChromeおよびIEブラウザの場合

- ツール → インターネットオプション → セキュリティ → ローカルイントラネットゾーン → サイト → 高度
- ローカルイントラネットサイトに入力 (例 : <https://servername.openlm.com>) → [追加] をクリックします。

Firefoxブラウザの場合

- FirefoxアドレスバーにAbout:Configを入力 → フィルタボックスにNTLMを入力します。
- network.automatic-ntlm-auth.trusted-uris エントリをダブルクリックします。



- ローカルイントラネットサイト (<https://servername.openlm.com>) を入力し、 **[OK]** をクリックします。
- **OpenLM EasyAdmin**ユーザーインターフェイスを開く→**スタート**→**管理**→**システム**
- **[信頼できる認証を有効にする]** ボックスをオン→LDAP同期段階(上記)中に設定した**信頼されたドメイン名**を追加→**保存**。
- [詳細ドキュメント](#)を参照してください。

+81 (0)50 5893 6263

sales@openlm.com

